大阪市立

新巽中学校

校長名	戎　治
所在地	〒544−0015 大阪市生野区巽南4−2−53
電話番号	06−6793−7415
FAX番号	06−6793−4178
HPアドレス	https://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j672488

QRコード

教育目標

『自己を磨き続け、他者と関わり、共に持続可能な社会を探究する人』を育成する

重点目標

①豊かな心と健康な体の育成
②主体的・対話的で深い学びの創造
③安全で安心な学校生活

標準服

A

B

※男女ともに『A』・『B』選択可

令和6年度全国学力・学習状況調査

平均正答率（%）

国語	数学
51	45

結果概要

【国語】記号を選択する問題の無回答率はほぼ0%だが、文章を書く問題になると平均15%と全国と比較して高い傾向にある。全国と比較して「話すこと・聞くこと」に関する問題は、比較的よく正しい答えを導き出せている。記述の内容要約に少してこずっている様子が散見された。短い資料を読み自分の考えを整理する力をつける必要がある。また、文章を書く機会を増やし、自分の考えを書くことで表現する習慣をつける。

【数学】全国と比較するとすべての領域で正答率が下回っているが、特に「データの活用」領域において全国平均より約13%下回った。正答数集計値では、全体の約4分の1にあたる27%の生徒が正答数4問以下である（全国は20%）。また、正答数12問以上の生徒も16%であり、全国の27%を大きく下回っている。一方で、全国正答率が最も高かった問題（大問6(1)）については、本校はそれを上回る正答率であった。全体的な底上げが必要である。基礎的・基本的な問題の正答率を上げて全体的な底上げを図る一方で、正答数の高い層には、応用力を伸ばす手立ても必要である。個々の課題が異なるため、一斉指導だけでなく、デジタルドリルを活用するなど、個別最適化も意識しながら必要な手立てを行っていきたい。

自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

学習面においては、全教員で全校生徒を見守ることを念頭に置き、TT、習熟度別クラス分割授業等で全校生徒を見守る仕組みを作っている。また、「わかる喜び、できる楽しさを実感できる授業」をめざし、ICT機器を活用した授業の工夫・改善に取り組んでいる。全国学力・学習状況調査においては、少しずつではあるが全国平均に近づいてきている。また大阪府チャレンジテストにおいては、ここ数年間、学年が上がるにつれて対府比の数値が上がるという傾向があり、単元テストの効果が表れてきた。今年度からは、入試に近い定期テストを採用している。

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

種目別平均値

性別	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (回)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール投げ (m)	合計得点
男子	27.18	22.14	45.94	49.89	72.03	8.50	196.08	21.03	39.66
女子	22.35	18.60	43.04	39.89	43.65	9.53	162.59	11.79	41.90

結果概要

「握力」は大阪市と比較して、男子は1.2kg、女子は0.64kg低い結果であった。「上体起こし」は大阪市と比較して、男子は4.28回、女子は3.61回低い結果であった。「長座体前屈」は大阪市と比較して、男子は3.2cm上回り、女子は2.6cm低い結果であった。「反復横とび」は大阪市と比較して、男子は1.61点、女子は5.97点低い結果であった。「20mシャトルラン」は大阪市と比較して、男子は7.73回、女子は9.33回低い結果であった。「50m走」は大阪市と比較して、男子は0.42秒、女子は0.52秒遅い結果であった。「立ち幅とび」は大阪市と比較して、男子は1.44cm高く、女子は4.42cm低い結果であった。「ハンドボール投げ」は大阪市と比較して、男子は1.19m高く、女子は0.25m低い結果であった。

【課題】

『上体起し』『20mシャトルラン』は、大阪市平均、国平均との差が大きく、「筋持久力・筋力」・「全身持久力」の強化・向上が課題である。

自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

体育の授業において、準備運動時の補強運動や種目の中に課題である「敏捷性」・「全身持久力」・「瞬発力」の向上が見込まれる運動を継続的に取り入れる。

卒業後の進路

過去3年間の卒業者数

令和6年度　64　　令和5年度　70　　令和4年度　81

【大阪府下の府立高校】東住吉総合(7)、大阪わかば(勝山・桃谷)(5)、八尾北(5)、大阪府教育センター附属(4)、阪南(4)、東住吉(4)、布施(4)、八尾(4)、生野(3)、大塚(3)布施北(3)、桃谷(通信制・定時制夜間)(3)、夕陽丘(3)、阿倍野(2)、港南造形(2)、成城(2)、花園(2)、布施工科(2)、港(2)、守口東(2)、今宮工科、堺工科、住吉、天王寺、長吉、野崎、八尾翠翔、山本

【大阪府下の旧大阪市立高校（現在は府立高校）】大阪ビジネスフロンティア(7)、汎愛(5)、泉尾工業(2)、工芸(2)、生野工業、桜宮、都島工業

【大阪府下の私立高校】阪南大学(13)、大阪学芸(9)、大阪商業大学(7)、あべの翔学(5)、浪速(5)、興國(4)、金光藤蔭(4)、桃山学院(4)、上宮(3)、英風(3)、大阪学院大学(3)、昇陽(3)、明浄学院(3)、大阪偕星学園(2)、大阪産業大学附属(2)、大阪つくば開成(2)、大阪夕陽丘学園(2)、常翔学園(2)、城星学園(2)、清風(2)、プール学院(2)、追手門学院大手前、大阪、香ヶ丘リベルテ、関西大学北陽、関西福祉科学大学、近畿大学附属、金蘭会、金光八尾、樟蔭、天王寺学館、羽衣学園、箕面自由学園

【その他（他府県等）の高校】屋久島おおぞら(3)、大阪府立桜和(3)、生野支援(2)、東大阪市立日新(2)、飛鳥未来(2)、東朋高等専修学校(2)、たまがわ高等支援、東北生活文化大学、尾道、松山聖陵、ルネサンス大阪、大阪国際、西大和学園、和歌山県立南部、レコールバンタン高等部、専修学校クラーク高等学院

校長先生のメッセージ

新巽中学校は、生野区の東南に位置し、今年度創立 50 周年を迎えました。
運動場が広く、野球部、ラグビー部、サッカー部、ソフトテニス部が同時に活動できる広さがあります。
一人ひとりの能力を伸ばすことを目的に全教職員が力を集結し取り組んでいます。
新巽中学校は、今後とも、生徒・教職員がともに生き生きと活動できる教育の場を目指すとともに、保護者・地域の皆様から信頼と満足を得られるよう、努力を積み重ねてまいります。

運営に関する計画

計画のエッセンス

①生徒が安全で安心できる学校生活を営むことができるよう、いじめ等に関する相談機能の充実や保健衛生面における指導の徹底を図る。
②豊かな心や社会に貢献する態度等を身に着けるため、通常の学習をはじめ、さまざまな教育活動において生徒が主体的かつ協働的に取り組む姿勢を大切にする。

中期目標、年度目標等

[安全・安心な教育の推進]

①令和4年度～令和7年度の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を毎年100%にする。(R5 100%)(R6 100%)
②令和4年度～令和7年度の校内調査において、「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を95%以上にする。(R5 83%)(R6 84.2%)
③令和4年度～令和7年度の校内調査において、「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を80%以上にする。(R5 63%)(R6 69.1%)

[未来を切り拓く学力・体力の向上]

①令和7年度の中学校チャレンジテスト(3年生)において、大阪府平均点を上回る。
(R5 国語 -3.6　社会 -5.2　数学 -1.4　理科 -3.3　英語 -4.2)
(R6 国語 -3.6　社会 -3.6　数学 -8.3　理科 -6.2　英語 -2.9)
②令和7年度の中学校チャレンジテスト(3年生)において、府平均の7割に満たない生徒の割合を15%以下に減少させる。(R5 27.1%)(R6 35.2%)
③令和7年度の中学校チャレンジテストにおいて、府平均の2割以上上回る生徒を1年19%、2年25% 、3年28%以上に増加させる。
(R5　1年12%、2年33%、3年19%)
(R6　1年17%、2年19%、3年26%)
④令和7年度の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して「している（どちらかといえばしている）」と答える生徒の割合を8割に増加させる。(R5 69%)(R6 68.9%)
⑤令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、体力合計点を令和3年度校内平均(男子39.76 女子44.08)より2ポイント向上させる。
(R5 男子36.53 女子41.63)
(R6 男子39.66 女子41.90)
⑥令和7年度における校内アンケートで「授業が分かりやすい」と答える生徒の割合を70%以上にする。(R5 52%)(R6 64.4%)
⑦令和7年度における校内アンケートで「授業内容・方法を工夫している」と答える生徒の割合を80%以上にする。(R5 71%)(R6 73.5%)

[学びを支える教育環境の充実]

①授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く] (R6 1.3%)
②「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を70%以上にする。(R5 39.29%)(R6 71.43%)
③令和4年度～令和7年度の校内調査における「学校の図書館をよく利用している」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を前年度より向上させる。(R5 36%)(R6 47.9%)

「特色ある学習活動」　および　「家庭・地域等との連携」

特色ある学習活動

しんたつチームビルディング～アドベンチャープログラム～

しんたつチームビルディングとして、関西大学堺キャンパスの「アドベンチャープログラム」に取り組んでいます。「アドベンチャープログラム」はチームビルディング、コミュニティー作りを目的としたもので、チームで様々な課題を協力してクリアしていくものです。ハイエレメントやローエレメントがあり、ハイエレメントでは、ボルダリングを使ったプログラムや、命綱を使ったプログラムでハーネスやロープの管理から安全管理や危機管理についても学び、文字通り「パートナーの命綱を握る」貴重な体験でもありました。施設の頂上からはあべのハルカスも望める絶景だったそうです。体験学習法を用いたグループワークを通して参加者それぞれが学びを深め、チームビルディングとして、「学級づくり」、「他者への関わり」等、多くの目的に適用可能であり、シンプルな理念と簡単なアクティビティで構成されたポータブルな技法です。互いが尊重し合うことができる関係性を基盤として個人の自己変容を支え合うにはどうすればよいのか、正解のない問いについて一緒に考えていくことができればと願っています。

国際理解教育

国際理解教育～多文化共生教育～

関西万博に向けて国際理解を深め、多文化共生について学ぶことを目的として行いました。また、異文化理解やコミュニケーション能力の向上を図るとともに、現在取り組んでいる自分たちの街「大阪」の探求学習と連携して大阪の魅力、日本の魅力を伝えることで自国文化を深めることを目的としています。令和6年度は、中国上海にある尚徳実験学校と国際交流を行いました。お互い英語での交流となりました。

地域等との連携

キャリア教育～職業講話～

毎年2年生で、地域の事業所の方の受け入れの元、職場体験学習を行っています。職場体験学習の導入として、SPトランププロ講師の川島様に来ていただき、仕事の適性について学んでいます。また、株式会社リゲッタの社員の方に来ていただき、「ものづくりの街」である生野区の歴史や「ものづくりをする人」の想いを生の声で聴かせていただき、実際に商品に触れ、楽しみながら学習をしています。

また、「働くってなんだろう?」という事や、「どんな仕事にも共通していることは?」など、いくつかの質問を通して生徒それぞれが考えたり、グループで話し合ったりしながら、働くことについて考えを深めています。

防災教育～避難訓練～

年2回の避難訓練では、生野消防署と連携し、地震からの火災を想定した訓練を行っている。また、地震から津波を想定した避難訓練では、生野区役所防災担当の方に来ていただき、避難訓練を行っている。避難後、学校長と生野区役所の防災担当の方から自然災害に備えておくことの重要さ、災害時に中学生に求められることについてお話をいただいた。また、学校外で災害にあった時に避難ができるように地域ごとに集合し、一時避難場所や一緒に避難するメンバーの確認を行った。自然災害はいつ起こるかわからないもので、災害時において、中学生の役割は大きいものなので、自分の身を第一に守りながら、災害時に中学生としてできる活動を身につけていきたい。